

# こじか荘かわら版



新年度ご挨拶

施設長 系原 征司

令和6年度は3年に一度の介護報酬改定が行われました。少子高齢化が進む中、介護業界でも慢性的な人手不足が問題となっています。このような状況を改善するために、「質の高い介護サービスの効率的な提供のための働きやすい職場づくり」が提唱され、国は介護ロボットや ICT 機器の活用を推進しています。

当施設では三次市の補助金を活用して、今年3月に「眠リスクン」や「見守りカメラ」、「ナースコール設備」、「介護記録ソフトと連携するシステム」を導入しました。この新しい取り組みは、業務効率の向上と併せて処遇改善に寄与し、職員の定着や応募の促進にもつながると期待しています。

しかし、テクノロジーがどれだけ進化しても、「相手を思いやる気持ち」を持った介護サービスは、人間以外に置き換えることが出来ないことであり、対人援助の中で最も重要なものだと考えています。

これからも利用者の皆様が安心して過ごせる施設を目指し努力してまいりますので、今後ともご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 職員紹介インタビュー

### ヨロシクお願いいたします



## ゆとりを持った介護を!!



介護課長 香川直規

— まずはご出身を教えてください。

香川 生まれも育ちも三次です。大学は広島市内でしたが、卒業後は三次へ戻ってきました。実家は商売をしていた為、幼い頃は両親と外出や旅行をする事があまりありませんでした。子供とふれあう時間を作り、休日に出外や旅行ができるようになりたいと思っていました。家業を継ぐ事は考えていませんでした。

— やりがいを感じることは？

香川 そうですね。日々懸命に仕事をしてきました。この仕事をしてみて、ご利用者との関りが私自身好きなことに気がきました。そして人と人との関わりの中で、自分も癒されているんだと。自分が苦手としている事がスムーズにできた時や「ありがとう」と言ってもらえた時など、ご利用者と一緒に過ごしている時間が楽しく、心が穏やかな気持ちになります。それが、今日まで介護の仕事を続けられた事に繋がっていると思います。これからも、ご利用者との関わりの中で、初心と尊敬の気持ちを忘れず、親しくなり過ぎない、いい距離感を大切にしたいと思います。

— 介護の仕事を始めたきっかけは？

香川 大学を卒業して、知り合いの勧めで「ちょっとうちに来てみんか？」とこじか荘を紹介していただき、そのまま就職することになりました。事務の仕事と聞いていましたが、介護の経験も必要という事で現場に配属されました。自分では介護の仕事に向いていないと思っていましたが、次第に介護の魅力を知り、気が付くと在籍 35 年となっていました。

— リフレッシュの方法は？

香川 家族とゆっくり食事をしたり、出掛けたり、旅行へ行ったりする事です。家族全員がカーブファンなのでチケットが取れたら球場へ観戦に行きたいですね。昔はカーブのチケットは簡単に手に入り、いつでも行けていたのですが、今はチケットを取る事が難しく、なかなか行く事が出来ないのが残念です。カーブファンが増えるのは嬉しいのですが、複雑な思いです。(笑)

— 介護をしてみてどうでしたか？

香川 最初はご利用者との関り方が分からず、日々手探りで、先輩方に色々とお話を聞いていました。特に女性の入浴介助と排泄介助には抵抗が強かったことを覚えています。そして、初めの頃はトラブルが起きた時の対処法が分からず不安や焦りがあり、心にゆとりがありませんでした。色々な経験を重ね、先輩方に指導していただき、対処法が分かるようになると、心にも余裕ができ、ご利用者との関りもスムーズにできるようになりました。

— これからやってみたい事や目標は？

香川 そうですね。もし他の職業は？と聞かれたら、写真家とか、動物関係(飼育員・トリマー)、ホームセンターや 100 円ショップが好きなので店員とかやってみたいですが、今は、こじか荘を色々な人に知ってもらいたいです。福祉の魅力をアピールして福祉に関わる人を育てていきたいです。ご利用者の傍にいて心が安らぎ、元気をもらえる事、嫌なことがあっても忘れられる事、関わる事で自分たちも成長できている事を、もっとたくさんの人に知っていただき、福祉の世界に興味を持ってもらいたいです。業務優先とならず、ご利用者のペースに寄り添った介護や、『今日はできなくてもいい。』と思えるような、ゆとりを持った介護に取り組んでいきたいです。

— 色々な部署を経験されたとか？

香川 そうですね。最初の 7 年をこじか荘の特養で高齢者介護を経験し、ともえ学園へ転勤し、16年障がい者支援を経験しました。その後、こじか荘へ戻り特養で2年、テイスサービスで5年を経験し、再び特養へ異動し、現在に至ります。色々な部署を経験する中で、日々の業務を優先するのではなく、『今日できなければ、明日やればいい。そんな日があっても良い。』と考えられるようになり、相手のペースに合わせた柔軟な対応ができるようになりました。そして、ご利用者だけでなく、地域の方や、その人を取り巻く支援の人など、色々な人との関わりの中で、家庭環境や、支え合いの大切さを知る良い経験となりました。

ありがとうございました。

編集委員より一言

カッコいい事は言えないし、記事にするような事はないと言われていたのですが、今まで体験・経験してきた事、これからの目標など聞かせてもらえる貴重なインタビューとなりました。ご利用者の事やカーブの話をしてる時の、にこやかな笑顔に人柄が表れていました。

## 編集後記



写真を選んでる時、ご利用者の自然で素敵な笑顔を見るとき、春の陽気のような暖かい気持ちになります。たくさんの笑顔の花をお届けできるように作成してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

## ボランティア

- 1月 26日 鯉谷美紀様 (散髪)
- 2月 16日 鯉谷美紀様 (散髪)

## 面会について

人数制限はありますが、居室棟内での面会を再開しました。玄関ホールでの面会も継続しております。今後の感染状況に応じて面会方法を変更してまいりますので、ご予約時に確認をお願いいたします。



いつの間にか、少し日も長くなり、暖かさを感じられる日が増えてきました。

2月3日の節分行事では、健康への願いを込めて、職員が扮する赤鬼や青鬼へ、豆に見立てた紅白の球を投げ、今年一年の無病息災を願いました。また、広島カープのテレビ中継を見ながら球春の到来と、今年カープの躍進を楽しみにしておられる方や、穏やかな日差しを見つめ、「どこかに出かけてみたい。」「花見に行きたい。」と、暖かい春に心ときめかせておられる方も。

今年度も、皆さんがお元気で、季節を感じていただける行事や催しを計画していきたいと思ひます。

# 特養

# こじか荘のひとコマ

# 通所

朝、夕とまだ寒さが残りますが、春を感じられる季節になってきました。

デイサービスでは、毎年恒例の節分祭を開催し、邪気を払い、健康を願いながら、鬼退治をしました。皆さんの気合でこじか荘に、今年一年福を招き入れ、元気に春を迎えることができるでしょう。

クラブ活動では季節を感じられる飾りを作っていたいただき、デイサービスの壁が桜満開になっています。

今年度も季節を感じて皆さんが楽しめる行事や企画を計画して行きたいと思ひます。

こじか荘にも春が来た！

鬼は～外！福は～内！！

病気や不幸といった災いや心の中にある鬼を追い払いましょ



節分

鬼は～外っ！

キャ～！

生きがい活動 (自宅外出)



寄付

JA吉舎 たんぼぼの会 吉舎支部 様

ありがとうございました

- ・箱ティッシュ
- ・トイレトペーパー
- ・ペーパータオル
- ・テーブルクリーナー

クラブ活動

満開の桜が壁面に完成しました



新入職員紹介



事務員 藤原紀子

3月から事務員として働いています。モットーは『笑顔で元気に！』です。事務所の一員として笑顔で頑張ります。見かけた時などは声をかけてください。よろしくお願ひいたします。